

室内実験用プロペラ形風車「アカショウビン1号」



アカショウビン

- アカショウビン1号は風力発電の研究が室内でそして安全に行なう為に開発された装置です。
- アカショウビン1号機は水平軸風車の代表的なプロペラ形風車です。
- 風は大型扇風機により必要時に起こせるので、気象条件に関係なくいつでも研究する事ができます。
- 風速変化に対する発電変化の体験や詳細なデータ収集など、「風力発電」の学習に手軽に利用できます。



「アカショウビン1号」の仕様

風車仕様

- * ローター 回転直径 0.91m 受風面積 0.65㎡
- * 翼枚数 6枚
- * 翼材質 FRP製
- * 方位制御 固定方式 (本来はアップウインド方式)
- * 定格出力 72W (風速 10m/sec メーカー提示)

安全対策

- * ガードフェンスにより、安全エリアを表示します
- * 75mmメッシュネットにより、不注意による接触事故を防止します
- * 側面のポリカ張りにより、翼の破損や抜け落ちによる飛散事故を防止します
- * 大型扇風機を後部に設置し、安全に配慮します

運転操作

- * スイッチ操作により、大型扇風機の風速(弱・中・強)が変わります
- * 風速変化により、LEDランプが点灯し明るさも変化します
- * 発電数値はパネル上のVメーター・Aメーターに表示されます

取扱いの注意 !

- * 運転中は危険なので、風車及び扇風機には絶対触れないで下さい !
- * 幼児だけでは、操作させないようにして下さい !
- * 安全対策および係員の指示を遵守して下さい !